

皮膚 T 細胞リンパ腫

皮膚 T 細胞リンパ腫の早期病変の治療は、ステロイド外用、紫外線療法など炎症性皮膚疾患、特にアトピー性皮膚炎の治療に類似することが経験的に知られています。一方、stage IIB 以降の進行期においては、現在のところ、国際的にも第一選択の治療を始め、定型治療は存在しないことが問題となっています。これは、皮膚 T 細胞リンパ腫が希少がんであり、世界的にも限られた数での臨床研究しか行われていないことが原因と考えられます。その中で、本邦で開発されたモガムリズマブ（ポテリジオ®）の第 3 層臨床研究の結果が 2018 年に発表されました。今後、進行期皮膚 T 細胞リンパ腫の薬剤の選択・開発にあたり、この研究が大きな役割を果たすものと考えられます。

当科腫瘍外来では、主に炎症後期から進行期にかけての皮膚 T 細胞リンパ腫に対する治療を行っております。現在、これら進行期に使用する薬剤の使用経験は下記の通りとなっております。今後、治験も含めた、皮膚 T 細胞リンパ腫の治療法の開発が進んでいきますので、治験も含め、治療に関するご相談は皮膚科新患（022-717-7759）までお願いします。